

別紙2

宮古島市空家等対策事業
公募型プロポーザル企画提案書作成要領

令和6年9月

宮古島市 建設部 建築課

公募型プロポーザル企画提案書作成要領

1. 企画提案書の作成に係る基本事項

(1) 形式

- ① A4 縦、2 穴フラットファイル綴じ
- ② フラットファイルの表紙及び1 ページ目には「宮古島市空家等対策事業 公募型プロポーザル企画提案書」、「提出日」及び「事業者名」を記載する。
- ③ 次ページは「目次」とし、その次ページから本題とする。
- ④ 単色やカラーは自由とし、文字の大きさは 12 ポイントを基本とするが、図表等の表現上必要な場合等はその他のポイントの使用も可とする。

(2) 枚数

企画提案書は A4 縦で両面印刷の 10 ページ以内(表紙及び目次除く)とし、簡潔かつ明瞭に記述することとする。企画提案書とは別の資料提出は認めない。

2. 提案書構成及び記載事項

(1) 安定運営能力及び業務実績

- ① 会社概要(組織体制、設立年月日、資本金、従業員数、主な事業内容等)
- ② 安定した経営基盤及び経営能力を有している体制等について記述する。
- ③ 品質マネジメントシステム(QMS)の取得について記述する。
- ④ 過去5年間に空家等実態調査及び空家等台帳作成等の業務に関する実績について、その内容や実施回数等を具体的に記述する。

(2) 業務計画

- ① 契約締結日から空家等実態調査、成果品提出等までの工程について具体的に記述する。

(3) 実施体制

- ① 本業務に配置する統括責任者及び担当者の氏名、業務実績及び資格、担当する業務内容等を記述する。統括責任者は提案事業者から選任する。
- ② 提案事業者及び連携協力事業者の事業者名や役割分担、要員、資格、実態調査実施体制等について記述する。
- ③ 本業務に係る個人情報の適正な管理のため「情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS)」や「Pマーク」の取得について記述する。

(4) 提案能力

- ① 本業務の目的を達成できる手法や考え方、取り組みに対する方針等について記述する。
- ② 業務委託仕様書の内容を理解した、実効かつ具体性のある提案を記述する。

(5) 調査対象把握

- ① 実態調査を実施する空家等の抽出方法について具体的に記述する。
- ② 調査を実施する上で有効となる資料等を有している場合は内容を記述する。

(6) 調査方法

- ① 適切かつ効率的で効果的な調査方法の実施について具体的に記述する。
- ② 所有者特定に必要な資料の把握と活用手法について記述する。
- ③ 所有者意向調査の方法について具体的に記述する。
- ④ 特定空家等及び管理不全空家等の抽出に係る手法について記述する。

(7) 調査結果分析及び成果品

- ① 実態調査結果に基づき特定空家等及び管理不全空家等の所在、分布状況、特性等の把握を行うための解析方法を示し、結果と現況との整合性を担保できる検証が行えるか記述する。
- ② 空家等管理台帳及び地図、データについて記述する。

(8) 業務支援能力

- ① 本事業による空家等の現状や課題を分析し、効率的かつ効果的な空家等対策の実施に繋がる提案について記述する。
- ② 本市にとって有利な独自提案事項等がある場合は、その内容を記述する。